



●編集・発行

富里地域ふるさとづくり協議会・広報部

富里近隣センター

〒277 柏市富里2-4-4 ☎73-9531

●制作 三和印刷社 TEL. 67-0237

野菜の即売会も大好評



「なにかひと工夫」と考えて行なわれた今年の文化祭、さて皆さんごらんになりましたか？

十一月十四日より開催致しました昭和六十一年度ふれあいの集い文化祭は、長尾会長を始めセンター役員挙げてのご協力と、

十一月十四日六町会住民各位の積極的なご参加により、多くの成果を挙げることが出来ました事を心より厚くお礼申し上げます。

今回は三回目でもあり、皆様のご意見やご要望も取り入れて、市当局の実施する文化祭行事の中心期日と私共の文化祭とは若

干期日をずらして実施致しました。尚、一人でも多くの人に見て頂きたいという念願から、人集めの目玉というか、地域住民意識の高揚を狙って野菜及び漬物の即売会も実施致しました。

これは予想通り大好評で、白菜の漬物などはたちまち売り切れの盛況でしたが、これ迄にする関係者のご苦勞も大変な事でした。特に白菜の漬物は何日も前から吉田副会長、菅原生活環境部長を中心に部員の方々の総力を挙げて、漬け込みから漬け直しと何日も犠牲を払ってお骨折りを頂いたことによる成果でございますので、この点深く感謝しております。

十三日各部からの応援のもとに午前十時より会場作り、午後一時より作品搬入の受け付を開始させて頂きました。

出品者は六町会より一五六名の方々と出品点数は二〇五点・もの見事に出品され十四日より華々しく祭典を開幕させて頂きました。展示品は何れ劣らぬ傑作ばかりで、参観者の方々も

一日に激賞しておりまして。素晴らしい作品の前には、しばし足を止め感嘆して見入っている姿も各所に見られ、作品のレベルの高さを物語っております。

六町会には指導のお立場の方々も多いとか、文化的芸術水準の高さを遺憾なく発揮され、今更ながら地域住民の一人として感慨一人でございます。

尚、野菜の売上金の一部は市の福祉事業の一助に寄付させて頂きます。

このふれあいの集い文化祭が人間性豊かな生活文化都市を目指して発展し続けている柏市民の相互のふれあいの場を更に広め、豊かな住み良いふるさとづくりに少しでも貢献出来ます事を念願とさせていただきます。

第三回文化祭の成功に格別のご指導とご協力を賜りました関係各位に深甚なる感謝を申し上げますと共に、将来に向けての地域社会が益々向上し、発展を遂げる事を祈念致しまして、御礼並びにご挨拶とさせて頂きます。(文化部 森)



グラントいっぱい 大歓声!!

ふれあいの大運動会に、各町会より大勢ご参加下され、本当にありがとうございました。

おかげさまで、天気にも恵まれ、家族総出で一日を楽しく過ごすことができましたことを、体育部一同心よりお礼申し上げます。隣り近所、町会ごとにも、また全体として、運動会の目的である「ふれあい」は充分に出来ましたでしょうか。最終種目の町会対抗リレーのあの盛り上がりかた、参加者の最高の興奮でし、あれだけ自分の町会に対し

て、ひとりひとりが愛着をもちているのだなあと感じました。今年も、競走種目を増やし、また賞品等も出場者全員に渡るよう配慮してみました。また私の一番うれしかったのは、参加者の多い町会から、自らすすんで担当委員と一緒に頑張って、がんばってくれたことでした。本当に有難く思っております。

体育部としては、もっともっと楽しく、みなさんが自由に参加できる競技種目を考えておきますので、ご意見がありましたし



たらお知らせ下さい。最後に各町会より選出された役員の皆様、最後まで本当にご苦勞さまでした。心よりお礼を申し上げます。

六町会の皆さんが頑張った結果は、つぎのとおりでした。

一位栄町、二位豊町、三位双葉

童心にかえって赤勝白かて!

十月二日、雨雲の濃い朝八時五十分、「住みよい六郷をつくる市民活動協議会」(高崎市)の視察研修に出席した。

栗橋を過ぎるあたりから稲刈がおくられていた。気温のせいだろうか。畦道は、草刈が行われきれいな状態だったが、彼岸花だけが刈り取られずに真赤に残っていた。農家の人々の温かい心の程がうかがわれ嬉しかった。

午後一時、六郷公民館到着。昭和五十六年の「あかぎ団体」を機会に、故郷の良さを見直し、他の人々にも誇れる地域を、環境面からも人々の心の中にも育てよう活動している。六郷協議会の多様な活動状況聞いた。学ぶところがたくさんあった。一つは、PTAや民生委員など組織化され企画に参加して



ふれあいの碁

「何が何でも勝たねばならぬ。絶対負けられない」と、意地と名譽に賭ける執念!! これは専門棋士の話。「暫らくデラツ...。今日ハヨイ天気デスネー。」などなど。これは富里近隣センター和室に広がる日曜午後の一コマ。同じ囲碁の対戦でも執念とは程遠い。楽しさあふれる明るい雰囲気の中、富里近隣センターふれあいの碁。この碁を通じ、コミュニティーの触れ合いの輪は確実に広がっています。

早いもので囲碁サークルが生まれて十ヶ月。センター幹部の方々の積極的な熱も温かいご指導に頼りながら、やっとあります。

む方があり結局例会の出席者は二十名足らずとなっています。二年二回大会を企画し、去る十一月九日に第一回の囲碁大会を開きました。当日は、富里協議会吉田副会長の励ましのご挨拶によって開始され、参加者二十六名はA・B二班に分れて正午から午後五時迄トーナメントによりそれぞれ四回の手合わせを

誇れる地域活動を山目指して

合うことは、地域全体の人々の活動に連なることと思つた。

二つは、街頭での交通安全指導、非行防止のバトロール、花いっぱい運動、道路標識の点検など地域に愛着を持ち善意と奉仕の人々に支えられている、と明るい表情で説明があった。

富里からも質問が多く、時間いっぱい話したかった。

三日は晴天、妙義神社や上野園一之宮前神社を参拝。日本最初の官製糸工場の町富岡市をすぎ、下仁田のこんにゃくの畑、赤坂の山々を見ながら帰途についた。

行いました。熱戦の末、有段者の部では古本拓雄さん(富里町)、級位者の部では園部実さん(中央町)がそれぞれ優勝カップと賞品を吉田副会長から授けられました。

サークルでは例会、大会を通じて、楽しめ和やかに触れ合いの輪が更に大きく広がることを待ちたいです。

初心者の方も是非ご参加下さい。

是非ご参加下さい。

毎月第一・第三・第四日曜日 午後一時～五時 会費は無料 (文化部 吉田)



(総務部 新堀)

町会だより



双葉町町会長 中山 貞雄

双葉町々会の位置は旧水戸街道に面し、柏電報電話局及び石浜建設株式会社の裏側と常盤線との中間地域に在り、昭和三十五年に町会が発足し、現在会員世帯数一九五の町会です。世帯数を八班に分割し、各班に正副二名の班長と役員をおき町会の運営に当っております。役員は、毎年改選し、当年度の班長十六名の中から行政、会計、外灯、衛生等の役員正副八名が選出され、毎年度の運営を行います。

五十八年度以降は、ふるさと協議会の発足により協議会の事業を即、町会の事業として参加しております。町会単独事業としては、老朽

化しつつある既設防犯灯の交換事業を毎年継続しつゝあり、其の他双葉クラブ（老人会）、子供会、二中支部に資源ゴミ収益金の五〇％を配分し支援しております。当町会には世帯数も少なく、サラリーマン世帯が多いため、三十八年度以降は女性主体で運営されており、毎年高令化が進んでおりますので、今後の役員選出に苦慮いたすこととなります。

住みよい環境

づくりとは？

手賀沼をきれいにするために、「洗濯に粉石けんを使いませよ」との講習会を終了し、実際に手賀沼を見てもうろしかない」と企画された施設見学会でした。九月九日（火）、朝まで残った雨も上り、市のバスで五十名が九時十分センターを出発しました。ニッカウイスキー工場に着き場内を見学、スライドによる説明などを受けました。その後手賀沼公園で昼食をすませた後ホテアオによるアオコ除去作用の様子を見ました。よごれの主原因が家庭排水ですので、お互いに気をつけたいものです。次に第二清掃工場に行き、係員の方から開口一番「皆さんは、ゴミステーションにゴミを出し

いてみましたところ、大正末期頃から運営されていたのではなからうございした。

敬老会

大いに笑い 大いに議論

役員構成は、相談役三名、会長一名、副会長三名、会計一名（兼集会所会計）、会計監査一名、総務一名、組長三十五名、民生委員二名、母子福祉委員一名、防火委員二名、香取神社総代五名、金刀比羅神社総代五名、富里近隣センター役員五名、栄寿会長、婦人部長、二中支部長、親子会長の計七十名で運営をしております。四月の年度始めに、各部会から年間行事計画を提出して頂き、町会行事予定に組み入れて一覧表を作成します。

町会の行事を行なう場合には役員総出で取り組み、冗談もとび出して和気あいあいのうちに進行します。このことが町を繁栄させ、心の豊かな、人情味のあるふるさとづくりに役立っております。

今年も恒例の敬老会が、柏市と社会福祉協議会の共催で、九月十五日に柏第三小学校で行なわれました。来賓の先生方の貴重なお言葉を拝聴しました。そのお言葉の一端を披露いたしますと主に次のような主旨と受け賜ります。● ぼけ対策として参考までに申し上げますと、ぼけないためには一番良い方法は笑うことです。笑いを忘れたらぼけの始まりです。お友達を多くつくられ、お話しをなから笑いを取り出して、ますますお元気で楽しく、高令化社会をお過ごし下さい。

● 親父は七十五才ですが私と



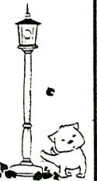
ぼけ防止

堂々とした議論をします。議論ができるということは若い証拠です。年令の若さと精神の若さは別ですから心を若くもって、いつまでも新しいことに挑戦することが大事です。どうか若い気持でお元気で過ごして下さい。

お礼の言葉として老人代表の加藤豊太郎さんが次のような挨拶をされました。

憤概・糞害

富里町会 嶋野 元 秀



縄文時代の昔から、いや、もつと太古からかも知れない。犬は人間の生活にとって此の上になく良い相棒である。時には信頼のおける友人であり、又或る時は有能な助手ともなる。そして飼ひ主の家と家人を護る、最も忠実な従者でもあります。犬が嫌いな人には想像も出来ないが、犬の表情は実に豊かで正直だ。我々人間とのコミュニケーションに言葉を持たない犬達は、其の大きさを度々さまざまな感情を表わす。嬉しい時や哀しい時、甘えたり拗ねたり、困った顔・諦めた顔等々。

此んなわけて生活環境が、一応犬を飼える状況になると、よほどの動物嫌いでない限り犬を飼う。子供にせがまれてか、番犬にでも仔犬から飼ひ始めるのである。だがちょっと待て。縫いぐるみ玩具と違って相手は生き物ののだ。仔犬のうちとはとても可愛い。それに扱い易いので小さい子供でも世話出来る。初めの頃は家の中で遊ばせたりもして、仮に粗相されても「しょうがない奴」と笑って済ませる。でも犬は役立つものと思ひます。消防署の説明によりますと、今年に入ってから、約八十件の火災が発生し、大半は、放火によるものですから家の周りには燃えやすいものを、置かないようにとの注意がありました。怪我の応急手当については、一枚の三角巾で、数種類の手当ての方法が実演され、手品のような実技で大変愉快でした。来年も挙って参加しましょう。

我が家の犬は別格かも知れない。いたって気ままで家のうちを勝手次第、庭で寝そべっていたかと思ひ、何時の間にか台所の床に腹ばっている。そのうち居間のロッキングチェアを占有して昼寝だ。まあ仕方ないが、此の牝犬は私の晩酌の相手とするし、寝る時は子供の部屋で人間と同じベットの上。冬ならばあんかがいらぬやうだ。仲々可愛いある奴で今夏で満三才、殊の外に気が小さく、他人に懐かず警戒心が強いので、よく吠えることも安心だ。どんな犬にとっても、一番の楽しみは飼主と一緒の散歩だ。主人の先をいそいそと、途中そちこちに匂付け、ひよいと振返って「どっちへ行くの？」と云わんばかり。時には嫌だと思ひ込んでのストライキ。原っぱでの排泄はさぞすっきりする事でしょう。

そう、その糞の話です。先にも言ったように、生き物は食べれば排泄物を出します。犬は自分のまわりを汚す事を好みません。だから外へ連れ出されるまで我慢しています。飼主もそれだからこそ、一日に二回は

外へ出して散歩させます。朝の散歩時にはよく同じ犬と出逢います。其の犬達の飼主さんの多くが、糞を拾う仕度をしていない事が気がかりです。犬の散歩の目的が生理的処理だとなれば、拾う準備が無いという事は、そのまの放置を意味します。次の日も又その次の日も場所を変えて、置きっぱなしにするのでしょね。

空地の草むらばかりではありません。道路上に点々と間隔を置いて落ちてくる場合がある。犬が排便の為に身構えると飼主さんは、「こんな路上じゃ、人目がある」とばかり引紐を引っ張る。引きずられて犬は、糞を落とすながら無理矢理歩かされる。こんな様子が目に映る。何れにしても遺棄された物は、誰かが取り除かない限り、自然に風化消滅するには日数がかかる。原っぱの地主さんや、そこで遊びたい子供達も嫌だろう。近所の人々も迷惑だ。誰も汚いと思ひ犬の糞は、当然飼主が始末すべきだ。人口が少なかつた昔の柏村とは時代が違う。一部の犬の飼主達のそんな心無い所業の為に、ちゃんと後始末している人迄が、糞公害の元凶と思われて、犬を連れ歩くのに肩身の狭い思いをしている。

犬は可愛い、だが自分の飼犬ばかりでなく、近隣住民への思いやりも欲しいものだ。

歳事で、ご多忙のところ、どんぐり工一写をお届けします。毎回のことで、編集打合せ会で取りあげた問題に関係のある方々に、ご寄稿を、お願いの協力をお願いしております。大変ご苦勞様でした。

編集後記

歳事で、ご多忙のところ、どんぐり工一写をお届けします。毎回のことで、編集打合せ会で取りあげた問題に関係のある方々に、ご寄稿を、お願いの協力をお願いしております。大変ご苦勞様でした。



真剣なまなざしで説明を聞く見学者

た、意義ある施設見学会でした。（生活環境部 菅原）

火災予防運動

“参加が予防の第一歩”

富里地域ふるさとづくり協議会では、防火対策及び負傷者に対する、応急処置の実技指導を、柏市東部消防署の協力をえて十二月七日にセンターで実施しました。消火訓練や防火講習は、毎回参加する度に、自然に身につくもので、万一の火災に大き